Since 1975
美夜古会
MIYAKOKAI

西日本工業大学・同窓会　「美夜古会」
同窓会報

美夜古会 HP

〒800-0344 福岡県京都郡苅田町新津 1-11-1　TEL・FAX: 0930-23-6989
（メール）E-mail:miyako@nishitech.ac.jp　（ブログ）http://ameblo.jp/yr3221
（ＨＰ）http://www.nishitech.ac.jp/~miyako/　（フェイスブック）http://www.facebook.com/nisikoudaidousoukai
発行責任者／小田　徹
編集責任者／大下　数雄

第51回本部総会及び懇親会を開催致しました



去る6月20日（土）、北九州市「ＪＲ九州ステーションホテル小倉」の5階「飛翔の間」で、令和8年度（第51回）本部総会を17時から出席者88名で開催いたしました。

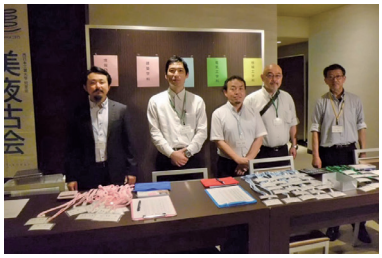
総会は高司副会長の開会挨拶で始まり、江本会長より挨拶があり、総会議長に「坂本茂三」氏（昭和46年土木工学科入学）が選出されました。総会成立宣言後、事務局より、令和7年度事業報告・決算報告・会計監査報告そして令和8年度事業計画案・予算案・本部役員案並びに評議員・「学内校友会支部」設立と提案され各議題提案後の質疑応答では、特に本部役員案についての意見・質問が数名から出され、それに対して「選考委員会」の経過が後藤選考委員長から報告されました。その後質疑がされましたが、採決が行われ賛成多数で本部役員が承認されました。本部役員承認後、江本前会長（昭和47年土木工学科入学）より退任挨拶そして小田新会長（昭和55年電気工学科入学）より就任の挨拶がされました。議題の最後には「学内校友会支部」が承認され17番目の支部として正式に発足しました。すべての議題が承認された後に、第14回功労賞として「荒木　信」氏（昭和45年建築学科入学）が表彰を受け、感謝状と記念品が江本会長から授与されました。

引き続き、懇親会は隣の会場で18時40分から来賓の方々と会員あわせて112名の出席で開催されました。後藤副会長（昭和49年土木工学科入学）の開会挨拶で始まり、小田会長の挨拶、学歌斉唱そして来賓挨拶として「鹿田」理事長・「有田」副学長・「杉坂」後援会長の3名から祝辞を頂きました。そして楽しい宴は「芳賀」北九州支部長（昭和61年電気工学科入学）の乾杯の発声で始まりです。





暫くの歓談の後、今年のアトラクションは「ＫＡＮＤＡ天神かぐら団」による石見神楽の「おろち」です。ご存じスサノウノミコトの八岐大蛇退治の神楽で会場は盛り上がりました。このかぐら団の団長は同窓会会員の「松本」氏（平成2年機械工学科入学）で、いつも以上に熱の入った舞で会場を沸かせていただきました。



楽しい宴も終わりに近づき、「野田」学内校友会支部長（平成17年土木工学科入学）による万歳三唱で懇親会を締め、最後に「山下」副会長（平成7年土木工学科入学）の閉会の挨拶で会を閉じました。

小雨降る足元の悪い中、出席頂いた皆様に感謝申し上げます。

これからも西日本工業大学同窓会「美夜古会」にご支援とご協力を宜しくお願い致します。

































第10代会長就任のご挨拶



会長　小田　徹

同窓生の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、令和8年6月20日に開催されました「美夜古会　第51回総会」におきまして、前会長C-47（第6期生）江本明生様の任期満了に伴い、第10代会長として選出され、承認をいただきました、E-55（第14期生）の小田徹でございます。

このたび大役を仰せつかり、光栄に存じますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、美夜古会のさらなる発展のため、誠心誠意努めてまいる所存です。

また、4期8年にわたり本会を牽引され、コロナ禍という困難を乗り越え、昨年9月6日の創立50周年記念事業を成功に導かれた江本前会長をはじめ、役員の皆さまのご尽力に、心より感謝申し上げます。

そして、今回の総会では、17番目の支部として「学内校友会」が正式に承認されました。本学現職教職員14名で構成され、本部と各支部との連携をさらに深める新たな組織として、発展に繋がるものと期待しております。

結びに、会員の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

美夜古会副会長　就任挨拶



副会長　山﨑　文博

高知県の山村で生まれ育った私は、昭和49年4月に建築学科入学で故郷南国土佐を後にしました。卒業後は福岡市の住宅会社で社会人としての第一歩をスタートしましたが、昭和60年3月には大分市に本社を持つ設計事務所に転職し、同時に妻子を連れて沖縄支社に赴任しました。この沖縄支社在職中に当時の山根美夜古会会長が沖縄まで訪ねて来てくださり、美夜古会沖縄支部の再設立を仰せつかりました。早速、御紹介頂いた先輩方と同期生や後輩に声をかけ、平成6年10月に美夜古会沖縄県支部を再設立出来ました。平成11年3月には14年間過ごした沖縄を後に、同社の福岡支社に赴任した際も美夜古会本部から福岡支部設立を仰せつかり、大勢の同窓生に御参加頂き美夜古会福岡支部を設立することが出来ました。そして平成16年秋、約20年間勤務した設計事務所を退職し、京都の大学に転職してからは美夜古会大阪支部の皆様に大変お世話になりました。この様に母校西日本工業大学を卒業後も行く先々で美夜古会との繋がりに恵まれ、私の人生において大きな支えでありました。そしてこの度は美夜古会副会長を仰せつかり、これまでに先輩方が築いて来てくださった美夜古会を次世代に繋げられます様、微力ながら努力して参ります。何卒、皆様の御支援と御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

美夜古会事務局長　就任挨拶



事務局長　川上　潤一

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、事務局長に就任することとなりました昭和61年機械入学の川上潤一です。

昨年は同窓会「美夜古会」創立50周年の節目の年も迎えて、今年から小田新会長をはじめ、西日本工業大学同窓会「美夜古会」が新しい体制となりました。

私自身は、1967年（昭和42年）生まれで、大学設立年と共に人生を歩んでまいりました。縁あって、高校の先生の勧めもあり本学へ入学しました。大学時代には、熱力学を専攻していましたが、4年後には母校大学職員として採用され、37年間在職しております。来年は、母校創立60周年を迎え更なる発展を遂げていくよう準備を進めております。

同窓会事務局では、今まで先輩方が築き上げてこられたことを壊さないよう精進して、頑張っていきたいと思います。何かと至らない点があるかと思いますが、今後とも皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

支部だより ■各支部近況報告■ Miyakokai Network News

新たな支部ができました

学内校友会支部

支部長　野田 翔兵（C -H17）



秋涼の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和8年6月20日に開催されました第51回「美夜古会」総会におきまして、「学内校友会支部」の設立をご承認いただきました。会員の皆様方には心より御礼申し上げます。

現在、本支部には教職員として14名の同窓生が在籍しております。支部として少数ではございますが、そのほとんどが役員を務め、他支部・本部・大学を繋ぐパイプ役を担うべく、身の引き締まる思いでおります。

本年度からは新学科も開設され、次世代を見据えた新しい活気が満ちております。教育環境の充実や学生たちの活躍など、進化を続ける母校の「今の魅力」を、会員の皆様へお届けして参ります。会員の皆様のご親族や身近な高校生へも母校の素晴らしさを伝えていただき、未来の頼もしい後輩たちが集うきっかけとなれば幸いです。

また、準会員（在学生）に一番近い支部として交流を深め、若手会員の積極的な参加と持続的な同窓会の発展に貢献して参りたいと考えております。

発足したばかりの若い支部ではございますが、諸先輩方におかれましては、今後とも温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、同窓会「美夜古会」並びに母校西日本工業大学の益々の発展と、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

広島支部

支部長　鶏内 詳三（A-58）



美夜古会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

前重前支部長におかれましては、広島支部の発展にご尽力いただきましてありがとうございました。これからも広島支部および本部の協力をお願いいたします。総会で承認されて今年度から広島支部長になりました鶏内です、よろしくお願いいたします。

広島支部におきまして今回は、3地区(安芸・備後・備北)合同で総会並びに親睦会を開催しました。本年度は、広島県三次市の『霞桜会館』で行い卒業生21名が集まりました。今年も余興としてプロの演奏家に生演奏してもらい歌手(大山百合香)さんが鹿児島県奄美群島沖永良部島出身と言うこともあって懇親会の最後には、三味線による演奏にてカチャーシーをみんなで踊り、楽しい時間をすごしました。

先輩方から受け継いだ支部活動を盛り上げていこうと思います。

京築支部

支部長　緒方 慎一郎（A-59）



美夜古会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年は例年になく猛暑が続き、お身体等お変わりございませんか。

さて、京築支部では、支部総会及び懇親会を5月30日（土曜日）に行橋市のリコフェスタで行いました。総会では、私緒方慎一郎（A-59）が新しい支部長に承認されました。また新しい幹事役員の方々も承認されました。

出口前支部長におかれましては、支部の発展にご尽力頂きましてありがとうございます。

これからも支部の応援・協力などよろしくお願いいたします。

私はまだまだ支部活動に対して未熟ではございますが、支部長に承認されたからには、先輩方から引き継いだ支部活動を絶やさず、若手の参加を積極的に促しつつ、他の支部との繋がりも協力出来るように考えながら、新体制で京築支部を盛り上げて行きたいと思います。

10月末から11月上旬に行われる大学祭には、もつ鍋販売の復活を予定しています。

Miyakokai Network News

沖縄県支部

支部監事 比嘉　将治 (E-H4)



　このたびの熊本地方で発生した地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興と、皆様が安心して日常生活を取り戻されますことを、沖縄県支部会員一同、心よりお祈り申し上げます。
　美夜古会沖縄県支部では、5月30日に支部総会・懇親会を開催いたしました。今回は、鶴田学長、塩塚事務局長をはじめ、多くの沖縄出身の学生がお世話になった北村名誉教授、九十九客員教授にもご出席いただき、当時先生方にお世話になった先輩方も出席されて例年以上に大変盛り上がった総会となりました。
　また、北村先生の大学時代の後輩であり、五十年以上前に沖縄工業高校に勤務され、多くの学生を西日本工業大学へ送り出してくださった宮城重夫先生にもご出席いただきました。宮城先生には、沖縄と西日本工業大学のご縁をつないでくださったことへの感謝の気持ちを込めて感謝状を贈呈するとともに、北村先生と宮城先生のお二人に当時の貴重なお話を伺うことができ、とても有意義な総会となりました。
　先生方のつないでくださった縁を大切にして、これからも会員同士の交流を深めながら、美夜古会沖縄県支部の活動を盛り上げていけたらと思っています。

北九州支部

支部長　芳賀 純一　(E-61)



　美夜古会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
　さて、2026年5月16日に令和8年度「美夜古会」北九州支部総会・懇親会を小倉リーセントホテルで開催致しました。40歳代から70歳代までの幅広い世代から17名が参加しました。
　大迫（前支部長）挨拶、事業・会計報告、及び役員・幹事改選があり、新支部長として私（芳賀）が承認されました。今後とも温かいご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。
　懇親会では、本部役員、近隣支部長、大学事務局長を来賓に迎え母校近況の紹介など、世代を超えた交流で大いに盛り上がりました。
　最近の支部活動では、定例の幹事会、レクリエーション（いちご狩り・バスツアー等）を実施し、会員との親睦を深めています。今後は、ボランティア活動などの社会貢献活動も行っていきたいと考えています。
　いろいろな活動を通じた、同世代・異世代及び業種を超えたネットワークを広げてみませんか。
　北九州支部会員各位の積極的な参加をお待ちしています。

高知県支部

支部長　大西 正範　(A-51)



　美夜古会会員の皆様、お疲れ様です。
　先ずは、７月の熊本での地震は、海を隔てた四国でも揺れを感じるほどの強い地震でした。災害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。同窓会でも即座に見舞金を出された由、そのスピード感に敬服いたします。
　被災地では毎日酷暑の中で復旧活動、ライフラインが断たれたなかでの生活には頭が下がります。どうぞ、健康にお気を付けください。高知でも来るべき南海トラフ大地震の教訓として、報道をしっかりと胸に刻み、準備したいと思います。
　さて、高知県支部は卒業生が３５０名を超える支部となってきましたが、支部活動は停滞というか、活発とは程遠い活動で、総会の他は数回の役員会、懇親会を開催しますが、ほとんどを中央部で行うため決まった顔ぶれになってしまいます。古希を迎える昭和の卒業生がいつまでもリードしていては変わらないのかもしれません。若い会員よ集え。昨年の秋、県西部の四万十市（旧中村市）で西部分会と題して懇親会を開催したところ若い西部地区の仲間と新しい出会いができました。東部地区は参加者が集まらず見送りとなりましたが、今年は是非開催したいと思い準備を進めます。中央部と言えばこの原稿を書いた一週間後、夏の懇親会、「ホテルの屋上ビアガーデンでビールを楽しみ暑さを吹き飛ばそう。」を開催予定です。旨いビールを飲んで暑さに負けず夏を乗り切る魂胆です。
　私は今年の本部総会には所用で出席できませんでしたが、「小田新会長」就任おめでとうございます。幹事、評議員の同窓会幹部はどんどん若返りつつありますが、まだまだ老兵も頑張っておりますぞ。新会長に置かれましてはお忙しいこと思いますが、是非、各県支部を行脚していただき、支部会員と懇親をお願いいたします。
　高知県支部にお越しの際は、おいしいカツオの刺身、「藁焼きたたき」を賞味していただき、「ひろめ市場」で一杯やって、桂浜の丘の上に立つ坂本龍馬と一緒に太平洋を眺めよう。というメニューをご用意しており、待ちしております。

大阪支部

支部長　牧野 正行　(E-52)



　西日本工業大学　同窓会「美夜古会」会員の皆様、日ごろの活動にご協力有難うございます。
　大阪支部総会を令和８年５月１６日に梅田北新地店大阪会議室にて行いました、大阪支部員１４名、本部から山下副会長、愛媛県支部から谷さんをお迎えして総勢１６名で開催しました。（支部間の垣根を越えての参加も歓迎です。）
　近年の大阪支部会では、昭和会員、平成会員、令和会員と3世代で行うことが出来るようになりました。
　各世代の話でのギャップに驚きを隠せませんが世代を超えた会を開催できることをうれしく思います。
　この会報誌をご覧の関西地区お住いの会員の皆様が、今後の大阪支部会へ参加していただき盛り上げていく力になっていただきたいと思います。
　是非とも、大阪支部への参加をお待ちしております。

支部だより ■各支部近況報告■ Miyakokai Network News

福岡支部

支部事務局長 山﨑 文博 (A-49)



平成11年に美夜古会本部から福岡支部設立の要請を受け、本部から御紹介頂いた福岡市とその近郊に住む先輩方や同期生にお声がけし、平成12年5月19日には美夜古会福岡支部設立総会を盛大に開催する事が出来、美夜古会福岡支部が誕生しました。その後、私は平成16年から京都に単身赴任となり、福岡支部を離れていましたが、令和2年に定年退職で福岡に戻り福岡支部に復帰させて頂きました。当時の福岡支部は私達設立メンバーよりも一回り以上若い後輩たちが中心となって、福岡支部を引き継いでくださっていました。しかし、こうした長い期間を継続してくださった役員（有志）には可成りの負担が掛かっていた様で、先輩方との考えや意見の相違にも苦慮していたことが表面化して来ました。それ故、新しい役員候補もいなく若い方々の参加が少なくなったため、昨年度の福岡支部幹事会において「福岡支部を一時本部預けとする」提案を本年度福岡支部総会において可決、本部総会では皆様に御報告頂いた次第です。よって、現在は福岡支部の活動は一時休止の状態となっていますが、本部の御支援を仰ぎ一日も早い復活案を模索中であります。今後は多くの福岡支部会員にお声がけし有志を募りたいと考えています（勿論これまでも御活躍頂いた有志の方々にも）。全会員の皆様、福岡支部復活に御支援と御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

山口県支部

支部長 栗原 武 (A-63)



令和8年の夏も猛暑が続いておりますが、美夜古会会員の皆さまにはお変わりなくお過ごしでしょうか。

このたび、山口県支部長に就任いたしました、昭和６３年建築学科入学の栗原と申します。

この場をお借りして、山口県支部の近況をご報告させていただきます。山口県支部は、小規模ながらも季節ごとに総会や懇親会を開催し、先輩・後輩の方々と楽しく交流を図っております。しかしながら、他の支部同様に、少子高齢化の波は押し寄せており、年を重ねるごとに会員も高齢化し、以前に比べると参加者も減少している状況です。

そう言う私も若くはありませんが、支部長に就任した際に私自身の目標に掲げたこととして、美夜古会をこれからも将来にわたって末永く盛り上げるためにも、次代の担い手になる若い方々にもぜひ積極的に関わっていただけるような環境づくりを進めることなど色々と工夫したいと考えております。

また、母校の隣の県支部として、微力ながら支援していく所存でございます。さらに、将来的には両県を結ぶ新たな橋（第2関門橋）も計画されており、交通が便利になることで、より身近になり、学生においても通学しやすい環境となります。

今後とも引き続き、関係者の皆さまのあたたかいご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

大分県支部

支部長 石戸 弘之 (E-57)



まずは、昨年2025年におおいた・別府市で開催しました、美夜古会本部総会にご出席くださいました、各支部の会員及びご家族及び大学関係者の方々に大変感謝申し上げます。ありがとうございました。

おかげさまで、何とか無事に成功となりまして一安心しております。

6月13日私が支部長となった、県南地区佐伯市で大分県支部総会を開催しました。

前江本会長、北九州支部大西幹事、京築支部山下事務局長、大学事務局の塩塚事務局長を来賓にお迎えして、大分県支部6名参加での支部総会となりました。

美夜古会のぼり旗も設置して、新しい大分県支部のスタートとなりました。

懇親会も10名と少人数での開催となりましたが、各自和気あいあいと歓談して、楽しい宴になりました。

来年は、県西地区の日田市で開催予定です。

私も支部長になり、12年目になりました。まだまだ、頑張ろうと思います。

今後は、支部役員の若返りを図り、支部内での人脈が充実するように改善していきます。

今後とも大分県支部をよろしくお願い致します。

※新会員を募集しております。
大分県在住の卒業生の方がおられましたら遠慮なく私まで連絡してください。よろしくお願いします。

連絡先
メールアドレス
ishito.hiroyuki.ho@tex.nipponsteel.com
会社携帯070-1445-0696

宮崎県支部

支部長 福澤 幸雄 (A-50)



美夜古会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年度の第20回宮崎県支部総会は、6月13日に本部副会長及び鹿児島支部、山口県支部、北九州支部からの来賓の皆様を迎えて総勢11名で開催することが出来ました。

新規会員の方への案内状送付等を行っておりますが、参加頂く事は中々難しい状況です。めげずに声掛けをしていこうと思います。

今後も現会員の親睦を図る事と新規会員の獲得など、支部活動を積極的に進めていこうと思います。

Miyakokai Network News

鹿児島支部

事務局長　池田 拡行　(E-H8)



「総会を通じて広がる交流の輪」

5月9日（土）、鹿児島支部総会・懇親会を鹿児島市「熊襲亭」にて開催致しました。

来賓として母校より「塩塚」事務局長に出席頂き、大学の研究力や多様な人材育成、卒業後の繋がりや交流についてご説明をいただき、会員の皆さまも大変興味深く耳を傾けておられました。

また、継続してご出席いただいている会員同士の親睦も一層深まり、「総会以外の活動にも挑戦したい」との前向きな意見も寄せられました。

今後は、近年の卒業生への周知活動を強化するとともに、会員の皆様と力を合わせ、より活気ある鹿児島支部を目指してまいります。

さらに、4年後に開催予定の美夜古会本部第５５回記念総会（鹿児島開催）に向けて、会員一同が心を一つにし、交流の輪を広げながら、支部活動のさらなる充実と発展に努めてまいります。

愛媛支部

支部長　武田 渉　(C-H7)



美夜古会会員の皆様、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

愛媛支部は、今年、設立20年という大きな節目を迎えることが出来ました。これまで支部の活動を支えてくださった会員の皆様、そして歴代の役員の皆様に、心より感謝申し上げます。

振り返りますと、20年という歳月の中で、総会や懇親会をはじめ、さまざまな交流の機会を通じて、会員同士の親睦を深めてまいりました。母校を同じくする仲間が愛媛の地で集い、近況を語り合い、楽しい時間を共有できたことは、支部活動の大きな財産です。

時代とともに生活や環境は変化し、総会出席者が年を追うごとに減少の一途をたどっておりますが、同窓の絆や人と人とのつながりの大切さは、20年前も今も変わりません。

この20年目を新たな出発点として、これまで築いてきたつながりを大切にしながら、より多くの会員の皆様に参加していただける、親しみやすく活気のある支部を目指してまいります。

これからも会員相互の交流を深め、母校への思いを次の世代へつなげていければと思います。

最後に、美夜古会同窓生、各支部の皆様の御活躍、御健康を祈念いたしますとともに愛媛支部への御指導のほどを、よろしくお願い申し上げます。

首都圏支部

支部長　田口 健太　(E-H15)



まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしですか。

首都圏支部は5月16日（土）に令和8年度の支部総会・懇親会を新宿野村ビル49階「肉割烹　五条」にて開催致しました。

本部から小田教授（会長）にお越しいただき、首都圏支部のメンバーの皆様とも久しぶりに顔を合わせ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

毎年恒例のBBQ大会ですが、10月17日（土）に「葛西臨海公園」にて開催予定です。青空の下で、BBQを囲んでワイワイ楽しみながら親睦を深めたいと思います。

久しぶりの方も、初めての方も大歓迎です。ぜひ気軽にご参加下さい。

たくさんの皆様とお会い出来るのを楽しみにしています。

長崎県支部

支部長　新谷 一男　(C-46)



美夜古会会員の皆様、お元気ですか。

長崎県支部は、毎年、忘年会又は新年会を幹事会兼ねて開催し、４月下旬に定期総会を開催しています。

本年は、4月25日（土）に初めて県央地区の諫早市「魚荘」で開催しました。例年は土曜日の夜６時開催でしたが、今回は常任幹事の「福田秀人」氏中心でお昼の13時開始、日帰り可能な総会の企画となりました。

その結果、３名の新人会員（幹事承認）が参加され嬉しい結果となりました。当日は、本部より「江本」会長、大学より「塩塚」事務局長の臨席を賜り、ご多忙の中、心より感謝申し上げます。

昨年の本部「第50回記念総会（別府開催）」には支部より５名、同窓会創立50周年記念講演・式典に２名の参加をいたしました。

長崎県支部は再設立から７年が経過し、支部役員も再設立総会参加者中心でしたが、今後は会員の高齢化のため世代交代をして新しいメンバーと相談しながら運営してまいります。

長崎県支部会員は現在353名です、支部会員の皆様、同窓会活動にご理解のある方の参加をお待ちしてます、ご一報ください。

※本号におきましては、諸般の事情により、筑豊支部、島根県支部の掲載を見送らせていただきます。

親子DE同窓生！

西工大ファミリーをお揃いで紹介

片山 英樹（A-H3）



私が卒業して30年近く過ぎますが振り返るとやはり学生時代が一番楽しくて充実していました。

多くの先生方と友達と夢を語り合ったり、卒業研究や試験勉強に熱中したり、海外研修へも行きました。私にとってかけがえのない時間でした。

息子が本大学へ入学して、改めて同窓会や後援会活動で先生方や先輩方と交流する事が出来て西日本工業大学の素晴らしさを実感しました。

今は北九州市で1級建築士事務所を開設しております。

これからは親子で『建築士』を目指して地域や社会貢献活動に励みます。

在学生の皆様も『人とのつながりを大切に』それぞれの夢や目標に向かって全力で取り組みながら自分自身の知識や経験、技術やスキルなどを本大学で思う存分に学んでいただきたいと思います。

西日本工業大学がさらに発展するために、先生方、同窓会、後援会、在学生が一緒になって大学活動を盛り上げて行きましょう。

今後の皆様のご活躍やご健勝を祈願しております。

片山 和海（A-R6）



私は小さい頃から建築やものづくりに興味があり、設計事務所を営む父の姿を見ながら、いつしか自分も建築に関わる仕事がしたいと思うようになりました。進学先を考える中で、幼い頃から背中を見てきた父が通っていた西日本工業大学に進学することを決めました。

大学では建築の専門的な勉強に加え、軽音サークルにも力を入れています。ライブや学園祭で仲間と音楽を奏でる楽しさを感じる一方、2年生では部長・渉外長を任され、部をまとめる難しさや、他大学の方々と積極的にコミュニケーションを取る大切さを学びました。音楽を通じて多くの人と出会い、人とのつながりも大きく広がりました。

建築の設計課題では大変なこともありましたが、友人同士で励まし合い、アドバイスをもらいながら取り組む中で、どの課題も楽しく乗り越えることができました。大学生活を通して、専門的な知識だけでなく、周りの人とつながり、支え合うことの大切さを実感しています。

これからは住宅を初め、公共施設や商業施設など、人が集まり、地域の人々に長く利用される建築に幅広く携わりたいと考えています。父が歩んできた大学で学んだことを自分なりに生かし、残りの大学生活でもさまざまなことに挑戦していきたいと思います。

本部役員名簿

役職名	氏名	入学年・学科	備考
会　長	小田　徹	E-55	新任
副会長	後藤　哲治	C-49	
	高司　俊彦	A-49	
	山﨑　文博	A-49	新任
	山下　鉄平	C-H7	
	大下　数雄	E-H9	
事務局長	川上　潤一	M-61	新任
事務局次長	石本　学	A-H8	庶務・新任
	衛藤　章二	A-H6	財務担当
	井上　雅文	E-63	企画担当
	緒方　裕二	C-H8	渉外担当
	松本　英樹	C-H10	渉外担当
幹　事	古庄　弘一	A-48	
	後藤　正孝	C-57	
	喜多島恒幸	M-60	新任
	田中　満弘	A-H1	新任
	工藤　研一	E-H2	新任
	味志　秀紀	E-H18	
	富永　成昭	C-H19	
監　事	米丸　修	C-48	新任
	正生　一宏	A-48	新任
	梶原　照治	C-52	
顧　問	進　司	E-45	
	江本　明生	C-47	

評議員名簿

評議員名	入学年・学科	所属支部
鶏内　詳三	A-58	広　島
緒方慎一郎	A-59	京　築
知念　権作	A-56	沖縄県
芳賀　純一	E-61	北九州
大西　正範	A-51	高知県
牧野　正行	E-52	大　阪
城戸　勝徳	E-59	福　岡
栗原　武	A-63	山口県
石戸　弘之	E-57	大分県
福澤　幸雄	A-50	宮崎県
下園　政喜	A-47	鹿児島
武田　渉	C-H7	愛　媛
川上　晃司	A-H14	筑　豊
原　浩志	C-54	島根県
田口　健太	E-H15	首都圏
新谷　一男	C-46	長崎県
野田　翔兵	C-H17	学内校友会



夫婦DE同窓生！

西工大ファミリーをお揃いで紹介

株式会社BRAING
岡田 優人（SM-H29）



幼い頃からものづくりや機械に興味があり、大学で工学をより専門的に深く学びたいと思ったことが進学のきっかけです。

現在は製品の設計・開発など、ものづくりに携わる仕事をしています。大学で培った知識や実践的な学びをそのまま活かせる現場で、学生時代の経験が今の仕事の基盤になっていると実感しています。

妻との出会いは大学祭実行委員会です。1年生の頃から同じ委員会で活動し、大学祭の準備などを共にする中で自然と距離が縮まっていきました。卒業後はそれぞれ社会人となり、東京と福岡という遠距離恋愛の時期もありましたが一緒に乗り越えて、昨年入籍いたしました。



大学生活では、大学祭実行委員会の副委員長を務めたほか、学生フォーミュラサークルでは部長としてチームを率いるなど、勉強以外にも多くのことに挑戦しました。多忙ながらも非常に充実した4年間だったと感じています。さまざまな経験を通じて成長できたことはもちろんですが、何よりも妻と出会えたことが、私にとって大学生活で一番の宝物です。

カナヤ医科器械株式会社
岡田 菫（A-H29）



父の仕事の関係で建築に興味を持ち、家からのアクセスの良さと、地域に根差した学習内容に惹かれ、進学を決めました。

卒業後は建築設備会社に入社し、関東で施工管理、積算等の仕事を行いました。

大学で得た知識と経験を活かして、3年間勤めましたが、やはり地元で働きたいという想いから福岡に戻り、現在は医療関係の事務をしています。

優人さんとは、大学での委員会活動を通じて出会いました。委員会活動は大変なことも多く、悩みが絶えない日々でしたが、それよりも多くのことを学び、いろんな人と出会い、今改めて思い返すと、とても貴重で宝物のような、かけがえのない時間を過ごしました。

そんな日々の中で、優人さんはいつもわたしを支えてくれて、周りに気を配り、みんなを引っ張っていく姿に惹かれました。

その後お付き合いを始めて、7年目の記念日に籍を入れました。

大学で過ごした4年間は、わたしの人生の中で最も輝かしい時間でした。勉強に励み、友人と遊び、サークル活動でたくさんの思い出を作り、その全てが今の私を創り上げてくれていると感じます。

現在は建築の仕事からは離れましたが、大学で学んだことは勉強だけではないです。西日本工業大学でそんな時間が過ごせたことを、わたしはとても幸福に感じています。

夫婦DE同窓生！

西工大ファミリーをお揃いで紹介

福岡県立小倉工業高等学校教諭　**徳久 竜馬**（A-R元）
大英産業株式会社　**（小野）舞依**（A-R3）

西工大での学びと縁に感謝して
―充実した教員生活と新婚の日々―

拝啓

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。西日本工業大学（建築学科）を卒業後、同大学院に進学して現在は工業高校の教諭として日々教壇に立っております。卒業以来、多くの方々に支えていただきながら、慌ただしくも充実した毎日を送っております。



工業高校での歩みと現在の仕事

大学院を修了後、まずは工業高校の常勤講師として2年間現場に立ち、試行錯誤を重ねながら指導経験を積んでまいりました。そして令和8年度より、正式に教諭として採用していただき、より一層身が引き締まる思いで生徒たちと向き合っています。

日々の授業や実習の中で痛感するのは、西工大の学部・大学院時代に培った専門知識や、熱心な先生方のご指導、そして仲間と切磋琢磨したサークル活動のすべての経験が、今の自分の大きな「引き出し」になっているということです。大学時代に得た確かな技術や、物事に真摯に向き合う姿勢は、そのまま現場で生徒たちに伝える生きた教材となっています。自分の原点である西工大で学べたこと、そして今の自分があることへの感謝の気持ちは、日々増すばかりです。本当に「西工大で良かった」と心から感じています。



新しい家族とこれからの抱負

また、私生活においても大きな転機がありました。令和8年3月、同じく西工大の建築学科で、2学年下だったパートナー（舞依）と結婚いたしました。同じ母校、同じ建築という共通のバックグラウンドを持つ相手だからこそ、お互いの仕事への理解も深く、心強い存在です。

現在は、新婚生活の温かい家庭づくりと、教員としての仕事の両立に奮闘する毎日です。決して楽なことばかりではありませんが、支え合えるパートナーの存在もあり、毎日を楽しく、充実した気持ちで過ごしています。

今後は、教師として生徒一人ひとりの心に響く指導ができるよう、さらに自己研鑽を重ねてまいりたいと考えております。同窓生の皆様におかれましては、ますますのご活躍とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



近況報告

各方面で活躍中の同窓生を紹介します。

「経験を糧に、脱炭素へ挑戦」

中部電力ミライズ　株式会社　林 繁丸（DE-H26）



製造業におけるカーボンニュートラル達成のための設備作り及び開発業務をしています。水処理関係の設備を担当しており、2D、3D ソフトの利用や、製図、設備評価から工事施工手配などの仕事をしています。

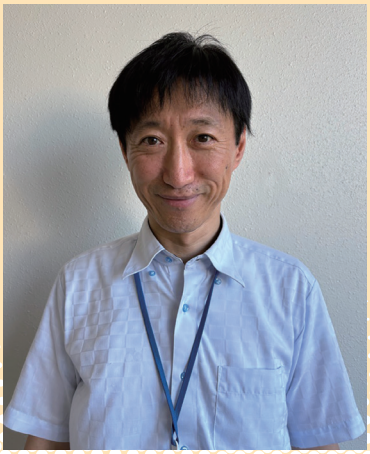
CAD 技術や製図法、学生フォーミュラ活動で培ったゼロから何かを作り上げて行く経験など、大学時代の経験は今でも業務遂行の屋台骨になっていると感じます。

社会人になって、知識の蓄積はさることながら、得た知識を如何に活用するかということが非常に大切だと感じることが多くあります。様々な経験の中に、課題解決のヒントがあるということを、身を持って学べました。

今後も、西日本工業大学での経験を活かし、世の中に役立つ技術開発が出来るよう、精進します。

更なる技術向上を目標に…

下関市上下水道局　下水道施設課　大下 数雄（E-H9）



平成９年電気工学科入学の大下です。平成９年入学と言いましても私は３年次の編入学のため、実際には平成11年から２年間の大学生活となりました。２年間でできるだけ多くのことを学ぼうと電気工学や情報工学、その他様々な講義を受講したため、あっという間の２年間でした。

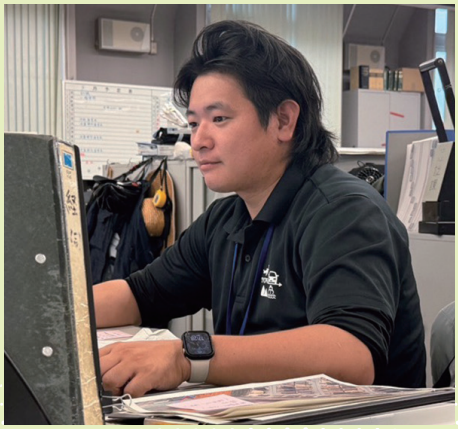
卒業後は、下関市の電気技術職の職員として入庁し、上下水道局の浄水場で配水場や浄水場等の水運用に係る運転操作員として交替勤務で従事し、その後、同じく浄水場内でプラント電気設備の維持管理や工事設計、施工管理等の業務に従事しました。現在は下水道施設に関する部署に従事していますが、業務内容としては下水道処理施設やポンプ場の建設や改築に係る業務に携わっています。

業務に役立てるため第１種電気工事士や第３種電気主任技術者等の資格を取得しましたが、近年では耐震化や耐水化に係る業務等、専門の電気だけではなく、機械、土木及び建築のことまで幅広く携わる必要性があり、日々勉強の毎日となっています。

今後も更に知識や技術の向上を目標に努力し続ける人材を目指します。

大学卒業から役場入庁後の２年間

苅田町役場　建設課　恵美 和真（C-H27）



私は西日本工業大学在学時、土木工学科の環境建設コースに所属し、「小波瀬川の水質・生態系について」をテーマに卒業研究を行いました。

令和元年に西日本工業大学を卒業後、橋梁建設会社で施工管理を経験し、その後、苅田町役場へ入庁しました。

役場入庁後は建設課の公共土木担当として、積算・工事発注、地域住民からの相談対応、修繕業務など、公共土木に関する幅広い業務を担当しています。

積算業務では、工事情報を整理した上で、規格基準に基づいて工事図面や工事金額を設定し、必要に応じて関係書類を作成しています。また、積算から施工業者の選定、工事発注までの一連の業務を行い、発注後は工事の進捗確認や施工管理などにも携わっています。

修繕業務では、町民からの苦情や相談、道路パトロールなどを通じて現場の状況を確認し、危険箇所や修繕が必要な箇所を判断しています。具体的には、道路や側溝の破損・陥没、道路に面した箇所の草刈り、街路樹の剪定などについて、必要に応じて施工業者の手配や修繕対応を行っています。

また、道路や公共施設等に関する相談窓口として、来庁した町民や業者からの相談にも対応し、現地の状況や内容に応じて修繕等の対応を行っています。特に、大雨や災害時には緊急対応を行うほか、土日祝日における緊急対応にも携わっています。

これまでの経験を通じて、民間企業での施工管理から、行政における積算・発注・施工管理、町民対応、維持修繕、災害時の緊急対応まで、公共土木に関する幅広い実務経験を積んできました。

近況報告

各方面で活躍中の同窓生を紹介します。

還暦からの挑戦 ～ひとつの水槽から、地域の未来を変える～

有限会社トータル・ヒューマンケア　喜多島 恒幸（M-60）



昭和60年機械工学科入学の喜多島です。卒業後、営業から開発・ビルメンテナンスといろんな分野を経験してまいりました。60歳還暦を前にして今、新たなプロジェクトに挑戦しています。

私はこの十数年にわたり、淡水を利用した陸上養殖の研究・技術開発と現場実証に取り組んできました。

私が追求してきたのは、「魚が育つ設備」ではなく、「事業として続く養殖」です。水温、水質、溶存酸素、給排水、ろ過、飼料、育成方法までを一つのシステムとして捉え、設備を過大にせず、地域の環境や事業規模に適した仕組みを現場で試行錯誤してきました。

現在、北九州市門司区の廃校を活用し、淡水によるトラウトサーモンの陸上養殖に取り組んでいます。独自の給水・ろ過・半循環型システムを構築し、約11~13ヶ月の育成を経て「関門サーモン」として出荷できる品質まで育てることに成功しました。

しかし、私にとってサーモンを育てることはゴールではありません。

この技術を使って、障がいのある方が給餌、水質管理、清掃など養殖の仕事に携わり、工賃・賃金の向上につなげる。そして、全国で増え続ける廃校を、新しい一次産業と雇用、教育、地域交流を生み出す場所へ変えていくことを目指しています。

こうした「廃校×陸上養殖×障がい者就労」の取り組みは新聞等でも紹介され、2025年には大阪・関西万博でも発信する機会を得ました。さらに大学との連携を進め、デジタル技術を活用した水質管理や養殖技術の高度化にも挑戦しています。

私がつくりたいのは、大きな養殖場ではありません。

水から魚を育て、魚から仕事を生み、仕事から人と地域を育てる。

技術は、社会で使われ、誰かの仕事や地域の価値になって初めて意味を持つと考えています。

一つの水槽から始まった挑戦を、福祉、一次産業、教育、地域経済が循環する新しい仕組みへ。そして北九州で実証したモデルを、全国へ。

まだ世の中にない仕組みだからこそ、挑戦する価値がある。それが、私が陸上養殖を続ける理由です。

世界への挑戦　縁を大切に恩を返す

建具・組子成縁組　前 成美（A -H25）



大川の建具屋さんで建具製作、伝統的な組子、神社仏閣といった様々な仕事を経験して4年間修業の後に2021年に弟子開けしました。

地元の田川に戻ってきて建具屋として現在では独立して1人で会社を経営しています。

2025年に日本伝統木工技術である組子に魅せられたユニット「未来工藝研究所」のメンバーと出会いました。メンバーと活動制作に携わるようになって経済産業省の「未踏アドバンスト」に採択され、大阪・関西万博「Global Startup EXPO 2025」において「ミャクミャク」を組子で表現した作品を出展しました。さらに2026年には、ミラノデザインウィークで立体組子作品「Tsumugi」を発表し、イタリアで組子の価値を発信してきました。

西日本工業大学で学んだ経験や先生方、友達との刺激を受けて私は前進できています。

この大学で関わってくださった方々に感謝して、今後も伝統技術を継承しながら技術を磨き、国内はもとより海外へ向けた活動にも積極的に挑戦していきたいと考えています。

技術への探求心と倫理観を胸に ～社会に貢献できるエンジニアへ～

ネットワーク応用技術研究所　椦 啓介（D-R4）



2026年にデザイン学部情報デザイン学科を卒業。

大学では3DCGを中心に学び、その中でプログラミングを行うことが増えたことからエンジニアの仕事に興味を持ち、システムエンジニアとして就職しました。

大学入学時にはコロナ禍ということもあり制限の多いスタートでしたが、制作活動や委員会活動を通じて学びの多い学生生活を送ることができました。

また、在学中に生成AIの存在を知り、卒業の時にはその存在が社会にとって当たり前になっているという急速な技術の発展を経験することとなりました。世の中の知識や知恵を新たな形で享受できるようになった反面、利用者もしくは技術者としての倫理観や価値観についても学ぶ必要性を感じる出来事でした。

現在は新人エンジニアとして企業の業務支援Webシステムの開発に携わっており、実務をこなしながら一人前の技術者を目指して、日々新しい知識や技術の習得に励んでいます。まだまだ未熟ではありますが、デザイン学部として培ったユーザー体験へのこだわりや技術への探求心を忘れず、社会に貢献できる存在になれるよう精進してまいります。

同窓会員親族の減免措置

【授業料半額免除額】

43万円×４年間=172万円

同窓会「美夜古会」創立50周年を記念して、令和７年度入学生より、同窓会員の親族が本学に進学した場合のサポート範囲が拡大しました。

【令和7年度以降の入学生より適用】
同窓会員の①子女、②孫、③兄弟・姉妹、④甥・姪が本学に入学した場合、授業料の半額が免除されます。

【令和6年度までの入学生に適用】
同窓会員の子女が本学に入学した場合、授業料の半額が免除されます。

同窓会会員の子女が本学に入学した場合、４年間の授業料を半額免除する特典に加えて、同窓会創立50周年を機に特典の範囲を「孫、兄弟・姉妹、甥・姪」まで拡大することとなりました。令和７年度以降に本学への入学者または令和８年度入学予定者で同窓会会員の「子女、孫、兄弟・姉妹、甥・姪」に該当する方がおられましたら、美夜古会事務局で所定の手続きをしていただきますと審査の上、４年間の授業料が半額免除となりますので、是非ご利用いただきますようご案内申し上げます。

同窓会会員の親族が進学した場合の サポート範囲が拡大

A 授業料免除額
（令和９年度入学生適用額）
43万円／年×4年間=**172万円**

B 必要書類
授業料半額免除申請書
同窓会会員との続柄が分かる書類
（戸籍謄本、住民票など）



創立50周年を機に、同窓会会員のお子様に加え、お孫様並びに、兄弟・姉妹、甥・姪の方も特典の対象となりました。

①対象者が入学した場合、授業料半額免除申請書及び必要書類を当該入学年度の４月末までに必ず同窓会事務局に提出してください。（初年度前期授業料の免除分は、後期授業料で相殺いたします。）
②免除の対象期間は、通常入学から卒業するまでの期間とし、留年による在学期間については対象外となります。
③免除の対象者が在学中、学則等に違反し懲戒を受けたときは、免除を取りやめることがあります。
④大学独自の他の奨学金と同時に受給権が発生した場合、いずれか有利な奨学金を受給することとなります。

免除を申請される方は同窓会事務室までご連絡下さい。申請されない場合は対象となりませんのでご注意下さい。
尚、不明な点がございましたら事前に同窓会事務局（表紙参照）までお問い合わせ下さい。

年会費納入のお願い

同窓会では、今後の活動のさらなる充実、支部活動の活性、在学生への支援、同窓会報の発行などを継続していくため、会員の皆様に会費納入のお願いをしております。同窓会報を通じて同窓会活動をご理解いただき、納入いただきますようお願い申し上げます。

令和９年版　西日本工業大学同窓会「美夜古会」名簿を発刊します！

予約限定出版

発行予定日：令和９年５月下旬

■収 録 者／創立から現在までの同窓生約20,000名
■掲載項目／氏（旧姓）名・〒・現住所・TEL・勤務先・TEL

NIT NewsLetter

新鮮な発見、新しい出会い、人の数だけドラマがある。

開学60周年記念シンボルマークが決定

令和９年に開学 60 周年を迎える西日本工業大学の「60 周年記念シンボルマーク」を在学生に募集し、デザインコンペティションを行いました。審査の結果、情報デザイン学科３年の上村柚月さんの作品が最優秀賞に選ばれました。優秀賞は、同科３年の荒木英留さんと谷本優奈さんが受賞しました。







常盤橋の橋げた撤去に向けて 市民の思いを込めたロゴマーク制作

北九州市小倉北区の紫川にかかる「常盤橋」（木の橋）の老朽化による橋げたの撤去作業が始まるにあたり、情報デザイン学科の梶谷研究室の学生が、市民の思いを込めたロゴマークを制作しました。「常盤橋を未来へ」というメッセージが入ったロゴは橋の中央部分に掲出され、「常盤橋のあり方検討会」のメンバーや地域住民らとともに撤去の様子を見送りました。

地場企業と連携した「工場ＤＸ」実践教育

工学部の教員と松田研究室の学生が、地域企業における工場 DX の推進をテーマに、課題解決型学習（PBL）による実践教育の一環として株式会社七尾製菓を訪問。会社全体の DX 化の取り組みや生産現場における課題、今後の展望について説明を受けた後、実際の製造現場の見学。各工程における業務の流れや課題を現場レベルで理解するとともに、属人化された作業やアナログ業務の残存、データ活用の難しさといった、座学では得ることのできない現実的な課題を直接体感することができました。





釜山国際短編映画祭に学生プログラマーとして参加

韓国で開催された釜山国際短編映画祭（BISFF）に、情報デザイン学科 4 年の横井柊斗さんが学生プログラマーとして参加しました。横井さんは学生プログラマーとして、上映作品の鑑賞や食事会への参加を通して、映画監督や出演者など多くの関係者と交流を行いました。

《横井さんのコメント》

昨年、北九州国際映画祭（KIFF）に学生プログラマーとして参加した経験があり、今年は BISFF で映画祭運営の違いや KIFF に生かせる点を学ぶため参加しました。映画関係者の方々と撮影技法や撮影場所について英語で会話ができ、大変勉強になりました。そして、映像には言語を超えて伝わる表現があることを実感できました。

「大学連携プラットフォーム北九州」を設立

北九州市内の 11 大学・3 短期大学が連携する「大学連携プラットフォーム北九州」の第 1 回総会（設立総会）が 8 月 24 日（月）に開催され、互選により本学 鶴田学長が会長に選出されました。「リスクマネジメント・共同施設利用部会」「地域貢献部会」「地元就職促進部会」など、5 つの専門部会を設置して活動を展開していきます。

また、本事業を円滑に推進し、積極的な活動を展開するために、北九州市および北九州商工会議所とそれぞれ包括連携協定を締結しました。



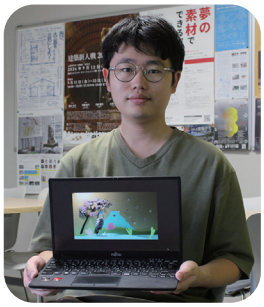
学研ヒルズ学際駅伝大会に出場
全方位に動く特徴のロボットで完走

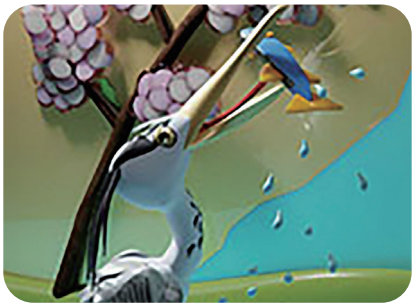


人間・動物・ロボットなど多種類の移動体が共生する未来社会について考える機会として開催された「第11回学研ヒルズ学際駅伝大会」に、本学は全方位に動くことを特徴とし現在はゲーム機のリモコンを用いて操作できるようにプログラムされている学生制作のロボットで出場しました。

ロボット研究部に所属する学生が中心となり電気や機械といった得意分野が異なる学生が力を合わせて改良を重ねた結果、一度も止まることなく約0.8kmコースの完走を果たしました。

Autodesk Fusion学生デザインコンテストで最優秀賞を受賞





「Autodesk Fusion学生デザインコンテスト2026」（第1回テーマ：お花見）において、建築学科3年で、モノづくり活動サークル「Creators Labo」所属の西村勇雅さん（高知工業高等学校出身）の作品［作品名：花より魚］が、最優秀賞を受賞しました。

《西村さんのコメント》

3Dプリンタでフィギュアを作り始め、造形技術の実力を確かめたくて参加しました。建築コンペにも取り組んでいるので入賞を目指して頑張りたいです。

連合サッカーロボットチーム「Hibikino-Musashi」
RoboCup2026（韓国・仁川）に参加



韓国・仁川で開催されたロボットサッカー世界大会「RoboCup2026」に、本学と九州工業大学・北九州高専の連合サッカーロボットチーム「Hibikino-Musashi」が参加し、自律移動型ロボットがサッカーを行う「Middle Size League」に出場しました。競技中は各ロボットが搭載したカメラやセンサを用いて周囲の状況を認識し、味方と連携しながら自律的に判断・行動します。大会を通して、世界各国のチームとの試合や技術交流を行い、研究成果を発信しました。

「DX推進による企業課題解決と提案力を考えるPBL」を実施



情報マネジメント学科の特徴でもあるPBL（課題解決型学習）の課外授業を1年生の任意メンバーで5月からスタート。テーマは、アルバイト経験ではなかなか見えにくい企業の内情を学ぶこととして、住宅資材販売を営むアドバンストーヨー株式会社に協力いただき、まずは組織の各部門の役割や使命を理解しました。今後の成長戦略の上で不可欠となるDX推進策を考える課題テーマが与えられ、学生は各部門間の業務フローに着目。毎週の自主課外授業でDX推進策を考え、7月にプレゼンテーションを行いました。

物故者会員　令和７年７月～令和８年９月　　謹んでご冥福をお祈りいたします。

池浦　剛 (S42M)	中村孝司 (S42M)	石橋由章 (H6M)	中村正教 (H11M)
渡部春樹 (S42E)	坂岡正喜 (S43E)	神里順之 (H3E)	木下史記 (H20E)
佐々木　瑛 (H27SJ)			
小西吉満 (S43C)	畦津正幸 (S44C)	福田博樹 (S44C)	福田順二 (S44C)
湯浅由雄 (S45C)	前田英樹 (S52C)	三船忠一 (S63C)	
屋良朝雄 (S45A)	前田忠彦 (S47A)	河野泰光 (S50A)	松川哲次 (S51A)
伊禮　学 (S52A)	福山　朗 (S52A)	吉井　亮 (S55A)	阿嘉津野子 (S59A)

NIT CLUB & CIRCLE NEWS

西工大の盛んなクラブ・サークル活動報告

弓道部



第７０回西日本学生弓道選手権大会男子団体 ４年振り５回目の優勝

「第 70 回西日本学生弓道選手権大会」において、本学弓道部が男子団体で 4 年振り 5 回目の優勝を果たしました。

団体予選は男子 6 人編成で各自 4 射の 24 射を 2 立ち合計 48 射、女子は 4 人編成で各自 4 射の 16 射を 2 立ち合計 32 射行います。

男子団体予選は 48 射 38 中で 3 校が同中 1 位で通過。決勝リーグ戦は前半 2 勝 1 敗となりましたが、後半の 4 試合は 4 勝 0 敗と勝ち切り、6 勝 1 敗 総的中数 138 中（的中率 82%）で優勝が決まりました。

また、射道優秀校として表彰されました。

バドミントン部



バドミントン男子ダブルス 全日本大学選手権の出場推薦枠を獲得

「第 75 回九州学生バドミントン選手権大会」において、男子団体で第 3 位の成績をおさめました。また、ダブルスでは試合の結果により、男子ダブルスと混合ダブルスで全日本大学選手権大会（全日本インカレ）出場の推薦枠を獲得しました。

《男子ダブルス：準優勝》
後藤遥斗さん（総合システム工学科 4 年）
井上諒哉さん（総合システム工学科 2 年）
後藤遥斗さんは福岡大学の選手と混合ダブルスに出場します。

ソフトボール部



九州地区大学ソフトボール春季大会で2年連続優勝 ４年連続全国大会へ

「第 44 回九州地区大学ソフトボール春季大会」（11 大学参加）において、本学ソフトボール部が優勝し、4 年連続で全国大会（9 月・富山県富山市で開催）への出場が決定しました。

準決勝・決勝ともに 2 点差の緊迫した試合展開でしたが、昨年の 4 校同時優勝を除くと、創部以来初の優勝を果たしました。本大会の結果により、2026 年 9 月に富山県富山市で開催される「全日本大学選手権大会」の出場権が付与されます。

バレーボール部



九州大学春季バレーボール男子 1 部リーグ戦 第３位九州選抜代表に２名選出

「令和 8 年度 九州大学春季バレーボール男子 1 部リーグ戦」において、本学バレーボール部が 5 勝 2 敗の成績で第 3 位の結果を残しました。個人賞では、山下天舞さん（総合システム工学科 4 年）が猛打賞とベストスコアラー賞を受賞しました。また、8 月末に開催される「西日本大学男子バレーボール学連選抜対抗戦」の九州選抜代表に、山下天舞さんと道崎天斗さん（総合システム工学科 3 年）の 2 名が選出されました。

第59回 美夜古祭 10/31(土) 11/1(日)

最高を更新せよ～ Break Your Limited ～

10/31㊏～11/1㊐ 開会式･イベント･模擬店

10/31（土）は同窓会から模擬店を出店します。

編　集　後　記

本号も無事に皆さまのお手元にお届けすることができ、ほっとしております。ご多用の中、原稿をお寄せいただいた皆さま、また編集・発行にご協力いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。

この会報が、久しぶりに旧友へ連絡してみようと思うきっかけになれば幸いです。

これからも皆さまに親しまれ、世代を越えた交流のきっかけとなる会報を目指してまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（M.T）